【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2004-510808(P2004-510808A)
【公表日】平成16年4月8日(2004.4.8)
【年通号数】公開・登録公報2004-014
【出願番号】特願2002-533837(P2002-533837)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/137　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/46　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/56　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/16　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/22　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/12
Ａ６１Ｋ　9/10
Ａ６１Ｋ　31/137
Ａ６１Ｋ　31/46
Ａ６１Ｋ　31/56
Ａ６１Ｋ　47/04
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｋ　47/16
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｋ　47/22
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　11/08

【誤訳訂正書】
【提出日】平成20年11月7日(2008.11.7)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【００７２】
硫酸サルブタモールの乳糖増量剤入りおよび増量剤なし調合物を次に目視により比較し、増量剤入り調合物の沈降速度がはるかに遅いことを認めた。両方のバイアルを振り混ぜて２分後にフロック高さを測定した。２分後に、増量剤なし調合物のフロック高さは調合物体積の３３％を占めたが、増量剤入り調合物のフロック高さは調合物体積の９５％を占めた。この観察は、サブミクロン乳糖を調合物中に組み込むことによって、より分散された一様な懸濁が達成されたことを示す。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８０】
硫酸サルブタモールのＤＬ－アラニン増量剤入りおよび増量剤なし調合物を目視により比較し、増量剤入り調合物の沈降速度がはるかに遅いことを認めた。両方のバイアルを振り混ぜて２分後にフロック高さを測定した。２分後に、増量剤なし調合物のフロック高さは調合物体積の３４％を占めたが、増量剤入り調合物のフロック高さは調合物体積の９９％を占めた。この観察は、サブミクロンＤＬ－アラニンを調合物中に組み込むことによって、より均一な分散された懸濁が達成されたことを示す。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８４】
硫酸サルブタモールの蔗糖増量剤入りおよび増量剤なし調合剤を目視により比較し、増量剤入り調合物の沈降速度がはるかに遅いことを認めた。両方のバイアルを振り混ぜて２分後にフロック高さを測定した。２分後に、増量剤なし調合物のフロック高さは調合物体積の３４％を占めたが、蔗糖増量剤入り調合物のフロック高さは調合物体積の８０％を占めた。この観察は、サブミクロン蔗糖を調合物中に組み込むことによって、より均一な分散された懸濁が達成されたことを示す。